

# ニュージーランドと日本の病院の違い

倉敷市立南中学校 宇野 希緒良

医者であるバディのおばにニュージーランドの病院見学に連れて行ってもらい、インタビューをしました。

## 見学した病院について（Christchurch Hospital）

病院関係の建物が幾つもあった。新しい病院を3棟も建設中で工事をしていた。産婦人科病院や内科病院、看護学生、医学生を育てるための建物、医大や寮などが同じ敷地にある。日本の病院と比べて、土地がとても広い。大きな庭もあり、人々の憩いの場となっている。川があり、たくさんの花や木が植えられていてオーケストラが演奏できる舞台もあった。庭は、道路をはさんで隣にあるハグレー公園の一部となっている。



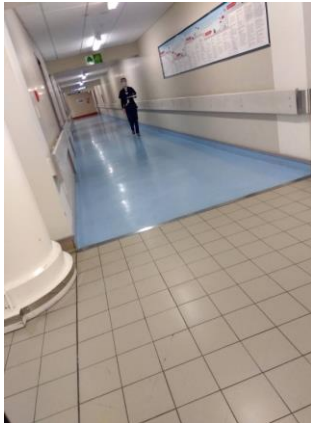
## 相違点

<日本>	<ニュージーランド>
倉敷は中学生まで、診察や、入院、薬をもらうのが無料	診察や薬をもらうためにはその都度お金が必要
風邪の場合、一度で3日分や5日間分の薬がもらえる	風邪の場合、一度で7日間分の薬がもらえる
看護師は白やピンク、水色のナース服を着る	看護師は青色のナース服を着る
医者はスクラブか私服の上に白衣を着る	医者のほとんどが私服で白衣を着ている人は見なかった
タトゥーをした医療関係者はいないと思う	医療関係者でもタトゥーをした人がたくさんいた
もしタトゥーをしていますが、隠していると思う	タトゥーを隠そうとしていない
診察をしたい人全員がその日のうちに診察を受けれる	医者が少ないため、その日のうちに診察を受けたくても受けられない人が多くいる
救急車の色は赤と白	救急車の色は、白と緑と黄緑



## 共通点

- ・薬の種類は、粉・シロップ・錠剤と日本と同じようにあった。子供が薬を飲みやすくするゼリー、アメがある。
- ・看護師の勤務時間は、8時間と決まっている。NZではシフトが3パターンある（午前7時～午後3時、午後3時～午後11時、午後11時～午前7時）、日本では主に日勤と夜勤に分かれている。
- ・やりがいについては、日本もNZも患者さんを助けて感謝されたときに感じると言っていた。
- ・衛生環境は日本の病院と同じで、入口にアルコール消毒が置いてある。
- ・小児科では子供が怖がらないように日本と同じでデコレーションされている。
- ・売店、理髪店、カフェがある。



## 感想

私が一番驚いた事は、診察を受けたい患者さんが必ずしもその日のうちに、診察してもらえるわけではないという事です。病院へ来ても治療を受けられず帰る人もいるそうです。日本では病院へ行けばその日のうちに診察を受けることが普通だと思っていたので、違いがあるのはなぜかと思いました。

その原因は、医者不足であると教えてもらいました。だから病院に来た人が全員治療できた日はとても良い日だと言っていました。

病院で働く人のやりがいについて感じたことは、日本もNZも共通して患者さんのために働いていることです。患者さんの喜ぶ顔を見るのが一番うれしいのだと思いました。